

学習評価の進め方ワークシート（記入例）

【学習評価の進め方ワークシート】の使い方

学習指導要領の改訂に伴い、評価の観点の3観点に整理されたことに加え、単元や内容のまとまりにおける評価が一層重視されるようになったことで、学校現場ではどのように児童を評価したらよいか迷われている先生方もいらっしゃると思います。

そこで、具体的に単元の評価規準を作成したり指導計画を立てたりすることで、新しい評価における理解を深めていただくことを目的とした「学習評価の進め方ワークシート」を作成しました。

右に示した「新学習指導要領における学習評価の在り方」の資料や文部科学省国立教育政策研究所から公表された「※指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料等を基に、以下のワークシートの手順に従い、単元の評価を実施してみてください。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyou.html>)国立教育政策研究所

新学習指導要領における 学習評価の在り方 小学校社会

1 単元における学習評価の進め方
単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

1	単元の目標を作成する	①については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、児童の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。
2	単元の評価規準を作成する	②については、①を踏まえ、評価場面や評価方法を計画する。 どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えた時、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。
3	「指導と評価の計画」を作成する	③に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。
4	観点ごとに総括する	④については、集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的评价(A、B、C)を行う。

2 単元における「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法
次に示した学習指導要領の記述形式等を踏まえて、単元の評価規準を作成する。

小学校学習指導要領の記述形式より（一部）

(1) ①について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること

(ア) Bを理解すること

(イ) Cなどで調べて、Dなどにまとめること

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること

(ア) Eなどに着目して、Fを捉え、Gを考え、表現すること

Point!

②の単元の評価規準を作成するに当たっては、「学習したことを基に○を考えた」として

(6)年 単元名 (日本国憲法の役割と我が国の政治の働き(全10時))

1 単元の目標を作成する

<単元の目標> 学習指導要領解説を基に、単元の目標を作成しましょう。

我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方に着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめ、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現することを通して、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に国民としての政治への関わり方について考えようとする態度を養う。

2 単元の評価規準を作成する

<学習指導要領における単元の該当箇所> 学習指導要領から該当する単元の記載内容を抜き出しましょう。

- (1) (我が国の政治の働き) について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解すること。
- (イ) 見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (ア) 日本国憲法の基本的な考え方に着目して、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現すること。

<単元の評価規準>

各教科の「新学習指導要領における学習評価の在り方」を基に作成しましょう。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①日本国憲法の基本的な考え方について、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、我が国の民主政治を理解している。 ②調べたことを関係図や文に整理してまとめ、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。	①日本国憲法の基本的な考え方に着目して、問いを見だし、我が国の民主政治について考え表現している。 ②日本国憲法の基本的な考え方と国民生活に関連付けて日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	①我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、国民としての政治への関わり方について考えようとしている。

3 「指導と評価の計画」を作成する

評価規準の内容を最も評価できる場面で、適切な評価方法を考えましょう。また、枠が足りないときは、同様の形式を作成して、なるべく詳しい計画を立ててみましょう。



時間	ねらい	○主な学習活動	□資料	評価方法と【評価規準】
1. 2	わたしたちのくらしと日本国憲法のつながりについて気づいたことや疑問に思ったことを基に、我が国の政治の働きについて学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようにする。	○写真や資料などから、学習問題をつくる。 ○学習問題の予想をもち、学習計画を立てる。 ・学習問題の予想 ・学習計画の立案	□写真 「国の政治の中心地」 □資料 「市役所の方の話」 □資料 「日本国憲法の三つの原則」 □学習計画表	○ノートの記述や発言内容から「日本国憲法の基本的な考え方に着目して、問いを見だしているか」を評価する。【思-①】 ○発言の内容や学習計画表から、「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態-①】
(中略)				
3	国民が権利をもつとはどのようなことなのか調べることを通して、国民主権と天皇の地位について理解できるようにする。	○国民が権利をもつということについて調べる。 ・選挙で代表者を選ぶ権利や首長・議員の選挙、条例を改正したり、首長・議員をやめさせたりする請求ができること。 ・憲法を改正するかどうかは、国民の投票で決めること。 ・日本国憲法では天皇は日本の国や国民の象徴であること。	□資料 「日本国憲法前文の一部」 □資料 「政治に参加する権利」 □資料 「日本国憲法と天皇」	○ノートやワークシートの記述から「国民主権の原則の下での国民としての政治参加の在り方や象徴としての天皇の地位について理解しているか」を評価する。【知-②】 ○ノートの記述や発言内容から「日本国憲法が国民生活について果たす役割について考えているか」を評価する。【思-②】
10	これまでの学習を基に、日本国憲法と国の政治のしくみについて学習したことを振り返る活動を通して、国民としての政治の関わり方について表現できるようにする。	○日本国憲法と国の政治のしくみについて学習したことを振り返り、学習問題について話し合う。 ○これから国民としてどのように政治に関わっていくか、自分の意見を書く。	□これまで学習してきた資料 □ノート □ワークシート	○これまで学習したことを基に、「社会への関わり方を適切に選択・判断しているか」を評価する。【思-②】 ○ノートやワークシートの記述内容から、「これから国民としてどのように政治へ関わっていくかと考えているか」を評価する。【態-②】

授業を行う



児童への学習状況のフィードバックや授業改善に生かす機能を一層充実させることが大切です。

4 観点ごとに総括する

評価の観点ごとの総括及び評定への総括の考え方や方法について、教師間で共通理解を図り、児童や保護者に説明し理解を得ましょう。



(例1) 評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する場合

A	B	C
3点	2点	1点

総括の結果をBとする範囲を $[2.5 \geq \text{平均値} \geq 1.5]$ とする。

学習活動	1	2	3	4	5	6	総括	単元の評価
知識・技能		3点		3点	2点		$8 \div 3 = 2.66$	A
思考・判断・表現			2点			3点	$5 \div 2 = 2.5$	B
主体的に学習に取り組む態度	2点	2点				3点	$7 \div 3 = 2.33$	B

(例2) 評価の結果のA・B・Cの数を基に総括する場合

「A、B」のように数が同数の場合や「A、B、C」のように混在する場合は、あらかじめ総括の仕方を決めておくことが必要です。

学習活動	1	2	3	4	5	6	単元の評価
知識・技能		A	A	A	B		A
思考・判断・表現		B		B	A	A	B
主体的に学習に取り組む態度	B					B	B

